

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県病虫害防除所長

平成22年度病虫害発生予察速報第1号について

このことについて、病虫害発生予察速報第1号を発表したので送付します。

ナシ赤星病菌飛散のピークは4月12日頃と予想されるので、落花後の防除を徹底するよう指導願います。

速報第1号

果樹

- 1 対象作物：ナシ
- 2 病虫害名：赤星病**
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生時期：前年並
- 5 発生量：前年並～やや多
- 6 ナシへの感染最盛期：4月中旬
- 7 速報の根拠
 - (1) 4月5～7日の調査では、県下6地点のナシ園周辺のビャクシン上におけるナシ赤星病菌の冬孢子堆膨潤率は96.9%（前年98.1%）、成熟度は58.0%（前年69.8%）であった（第1表）。
 - (2) 4月1日起算の冬孢子堆発芽最多期予想の回帰式（福岡県立園芸試験場、昭和45年）から、小生子の飛散ピークは4月12日頃（前年4月7日頃）と、前年より遅いと予想される（第2表）。
 - (3) ナシの開花盛期は、前年並～3日遅い（平年より7～8日早い）。
 - (4) 平成20年、防除適期にDMI剤を散布した調査圃場の半数で、本病が多発した（発病葉率10%以上）。
 - (5) 福岡管区气象台4月2日発表の1か月予報では、天気は数日の周期で変わり、平年に比べて曇りや雨の日が多いと予想されている。

8 防除上の注意等

- (1) DMI剤の効果が劣る産地では、落花後の降雨前に黒星病との同時防除を兼ねて散布するDMI剤（アンビルフロアブル、インダーフロアブル）に保護殺菌剤を混用する。
- (2) 福岡管区気象台発表の週間天気予報で降雨日を把握し、散布時期が遅れないように心がける。
- (3) 防除に当たっては、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守し、周辺圃場への飛散防止対策を講ずる。

第1表 バクシン上でのナシ赤星病菌冬孢子堆の成熟状況

調査地点	平成22年									平成21年		
	調査日	孢子堆数	膨潤程度別孢子堆数					膨潤率(%)	成熟度	調査日	膨潤率(%)	成熟度
			A	B	C	D	E					
朝倉市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/16	68.3	17.1
	3/25	74	0	3	10	40	21	71.6	23.3	3/26	78.1	38.3
	4/07	93	0	31	61	1	0	100	58.1	4/06	100	68.4
嘉麻市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/16	58.7	14.7
	3/25	119	0	26	32	51	10	91.6	40.5	3/26	100	45.4
	4/07	141	15	42	64	15	5	96.5	58.3	4/06	100	60.7
うきは市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3/16	53.2	14.9
	3/25	54	4	4	10	26	10	81.5	34.3	3/26	80.0	33.2
	4/07	111	1	47	52	6	5	95.5	57.4	4/06	90.9	67.3
筑後市	3/17	117	0	2	6	50	59	49.6	14.5	3/16	96.6	35.7
	3/26	106	0	13	49	28	16	84.9	38.9	3/26	91.2	62.6
	4/05	135	5	55	44	29	2	98.5	55.9	4/06	98.3	75.2
八女市	3/17	109	0	2	9	47	51	53.2	16.3	3/16	93.2	35.0
	3/26	107	0	22	30	44	11	89.7	39.7	3/26	90.2	61.1
	4/05	119	6	58	33	18	4	96.6	59.2	4/06	99.2	76.7
田川町	3/17	111	0	2	11	43	55	50.5	16.0	3/16	89.6	31.7
	3/26	103	0	11	26	54	17	84.3	32.2	3/26	89.3	44.4
	4/05	107	9	44	37	11	6	94.4	59.1	4/06	100	70.5
平均	3月下旬							51.1	15.6	-	76.6	24.9
	3月下旬							83.9	34.8	-	88.1	47.5
	4月上旬							96.9	58.0	-	98.1	69.8

注1) 膨潤率=(A+B+C+D)/孢子堆数×100

注2) 成熟度={(4A+3B+2C+D)/(4×孢子堆数)}×100



写真 バクシン上におけるナシ赤星病菌

< 菌の冬孢子堆膨潤程度 >

- A: 冬孢子堆が外観的に完全に膨張する。
- B: 一部未膨潤冬孢子堆を残す
- C: 約50%未膨潤冬孢子堆を残す
- D: 一部膨らむ
- E: すべて無膨潤である

第2表 冬孢子堆発芽最多期予想の回帰式計算結果

計算式	平均気温
$Y = 59.726 - 4.952X$ $= 11.9$ <p>Y : 4月1日起算の最多期までの日数 X : 3月3半旬～6半旬の平均気温</p>	<p>3月3半旬 : 8.6 3月4半旬 : 9.2 3月5半旬 : 9.8 3月6半旬 : 10.7</p> <hr/> <p>平均 : 9.7</p>

注1) 平均気温は太宰府アメダスの値を使用

第3表 農業総合試験場(筑紫野市)におけるナシ生育状況

品種	開花状況	本年	前年	平年	前年比(平年比)
豊水 (露地)	開花始め	3月27日	3月25日	4月6日	+2(-10)
	開花盛期	4月1日	3月29日	4月9日	+3(-8)
	開花終期	4月8日	4月6日	4月16日	+2(-8)
幸水 (露地)	開花始め	4月2日	3月31日	4月9日	+2(-7)
	開花盛期	4月5日	4月5日	4月12日	0(-7)
	開花終期	-	4月12日	4月18日	-

注1) 平年 : S57～H21年の平均

注2) 開花始め : 全体の20～30%の花が開花した日

開花盛期 : 全体の80%の花が開花した日

開花終期 : 全体の20～30%の花が散った日